



19ヶ国、30選手が所属する世界トップカテゴリーのUCIワールドチーム。

ツール・ド・熊野 団体準優勝！ 山田拓海が新人賞を獲得

ツアー・オブ・ジャパンに引き続き、6月3、4日に三重県と和歌山県で開催された「ツール・ド・熊野 (UCI2.2)」に EF エデュケーション・NIPPOディベロップメントチームが出場しました。

台風2号の影響により、第1ステージは札立峠を含む山間部を外すようにコースが短縮され、観光名所である「丸山千枚田」を2回駆け上る 63.7km のステージとして実施されました。

中盤から2選手が先行し、そのまま逃げ切る展開となり、チーム内最高位は留目夕陽の区間15位。留目はU23最上位となり、新人賞ジャージを獲得します。終盤の懸命な追い上げにより、メイン集団は20名ほどに絞られましたが、そこには山田拓海、橋川丈、織田聖も含まれており、チーム力の高さを発揮しました。

翌第2ステージでは、終盤に留目が機材トラブルにより後退。この日もハイペースで進み、半数以上の選手がリタイアする厳しいレースになりましたが、メイン集団に残った山田が留目に代わって新人賞を獲得、団体総合成績は2位でレースを終えました。



5月30日にフランスで開催されたワンディレース「Mercan'Tour Classic Alpes-Maritimes (UCI1.1)」で今季、体調不良に苦しんでいたエクアドルチャンピオンのリチャール・カラバスが優勝しました。



6月3日にアメリカで開催された過酷な未舗装路レース「アンバウンド・グラベル」にラクラン・モートンが挑戦。200マイル(約330km)走破するクラスで3位、総走行時間は10時間6分5秒。年々注目度が高まっており、日本からも愛好家が出場しています。

この道の先に
NIPPO**DEVELOPMENT TEAM**

UCIワールドチーム直下、若手中心の育成チーム。2023シーズンは6名の日本人選手が所属。



第1ステージ区間15位で新人賞を受け取った留目夕陽。「新人賞は嬉しいが、もっと上でフィニッシュしたかった」と話しました。



第2ステージで、メカトラで遅れた留目に代わり新人賞ジャージを獲得した山田拓海。昨年も同大会新人賞で二大会連続で獲得。



台風2号接近に伴う悪天候のため、6月2日の「古座川国際ロードレース」は中止。河川の増水等爪痕が残るなかで、関係者の尽力により「ツール・ド・熊野」は開催されました。



第2ステージ区間4位のスティリ(スイス)。TOJと合わせて初来日し、日本滞在も満喫！



第2ステージのスタート前に新人賞ジャージを着用する留目夕陽が紹介されました。

MORE INFO > <https://teamnippo.jp>